

1. 事業説明シート

事業名	畑地帯総合整備事業 (国補)	事業箇所	笛吹市春日居町下岩下、熊野堂	地区名	うめざわ・ひなたやま 梅沢・日向山	事業主体	山梨県																								
(1) 事業の概要				(2) 整備内容																											
<p>①課題・背景</p> <p>本地域を含む笛吹市春日居町は、もも・ぶどうを基幹作物とする県内有数の果樹地帯である。特に春日居共選所から出荷されるももは「春日居ブランド」として県内外から好評を得ている。</p> <p>しかしながら、本地区は急傾斜で農地は1区画が狭小であることから、機械作業が難しく人力作業が中心の営農を余儀なくされている。また近年は鳥獣被害も増加傾向にあることから、営農をあきらめる農業者もあり、地区内には耕作放棄地も点在している。</p> <p>一方、農地は東山広域農道 (フルーツライン) に隣接しており、共選場への出荷をスムーズに行うことができる地理的条件も備えていることから、規模拡大のため、このエリアで営農を希望する担い手や新規就農希望者も増加している。</p> <p>このことから、本事業により基盤整備を実施することで作業性の改善を図るとともに、担い手への農地の集積を推進し、果樹園地の形成と地域営農の継続を目指すものである。</p>				<p>①整備内容</p> <p>区画整理 A=13ha、用水路 (畑地かんがい施設) A=7.0ha 農道 L=780m、鳥獣害防止施設 L=3,000m</p> <p>②着手年度 平成31年度 ③完成見込年度 平成38年度</p> <p>④総事業費 約1,300百万円 (国費715百万円(5.5/10)、県費325百万円(2.5/10)、市費等260百万円(2.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1"> <tr><td>平成31年度</td><td>測量・設計</td><td>50 百万円</td></tr> <tr><td>平成32年度</td><td>区画整理</td><td>100 百万円</td></tr> <tr><td>平成33年度</td><td>区画整理 用水路 農道</td><td>200 百万円</td></tr> <tr><td>平成34年度</td><td>区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設</td><td>200 百万円</td></tr> <tr><td>平成35年度</td><td>区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設</td><td>200 百万円</td></tr> <tr><td>平成36年度</td><td>区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設</td><td>200 百万円</td></tr> <tr><td>平成37年度</td><td>区画整理 用水路</td><td>200 百万円</td></tr> <tr><td>平成38年度</td><td>用水路 鳥獣害防止施設</td><td>150 百万円</td></tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p>				平成31年度	測量・設計	50 百万円	平成32年度	区画整理	100 百万円	平成33年度	区画整理 用水路 農道	200 百万円	平成34年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円	平成35年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円	平成36年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円	平成37年度	区画整理 用水路	200 百万円	平成38年度	用水路 鳥獣害防止施設	150 百万円
平成31年度	測量・設計	50 百万円																													
平成32年度	区画整理	100 百万円																													
平成33年度	区画整理 用水路 農道	200 百万円																													
平成34年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円																													
平成35年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円																													
平成36年度	区画整理 用水路 農道 鳥獣害防止施設	200 百万円																													
平成37年度	区画整理 用水路	200 百万円																													
平成38年度	用水路 鳥獣害防止施設	150 百万円																													
<p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上</p> <p>区画整理等の基盤整備の実施により、産地の営農作業効率の向上や県産農産物の高品質化が図られ、春日居ブランド「もも」の生産量の増加や県内産地における競争力強化に繋がる。</p> <p>・面積当たり農業所得増加額 3,086千円/ha <math>\geq</math> 2,429千円/ha ※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設者朽度 (使用年数30年) <math>\div</math> (耐用年数30年) = 1.00 <math>\geq</math> 1.00 ※ ※畑地かんがい施設がS63年の整備から30年経過している。</li> <li>・畑地かんがい面積 6.0ha (現況) <math>\rightarrow</math> 13.0ha (計画) (計画)/(現況) = 2.16 <math>\geq</math> 1.0 ※ (参考) 用水量 6.39L/s (現況) <math>\rightarrow</math> 9.74L/s (計画) (計画)/(現況) = 1.52 <math>\geq</math> 1.00 ※</li> <li>・排水能力向上率 (計画排水能力) コンクリート水路による排水能力 0.196m<sup>3</sup>/s <math>\div</math> (現況排水能力) 土水路による排水能力 0.104m<sup>3</sup>/s = 1.88 <math>\geq</math> 1.0 ※</li> </ul> <p>□副次効果 ○果樹園景観の保全 ○遊休農地の解消 (農地として再利用する計画あり)</p>				<p>⑥既整備内容・期間・事業費</p> <p>なし</p>																											
<p>③目標達成の方法</p> <p>区画整理 3工区、用水路 (畑地かんがい施設) 3箇所 農道 3路線、鳥獣害防止施設 1箇所</p>				<p>(3) 中・長期計画等の位置付け</p> <p>新・やまなし農業大綱 (H27~H31)</p>																											
				<p>(4) 事業位置図等</p>																											